



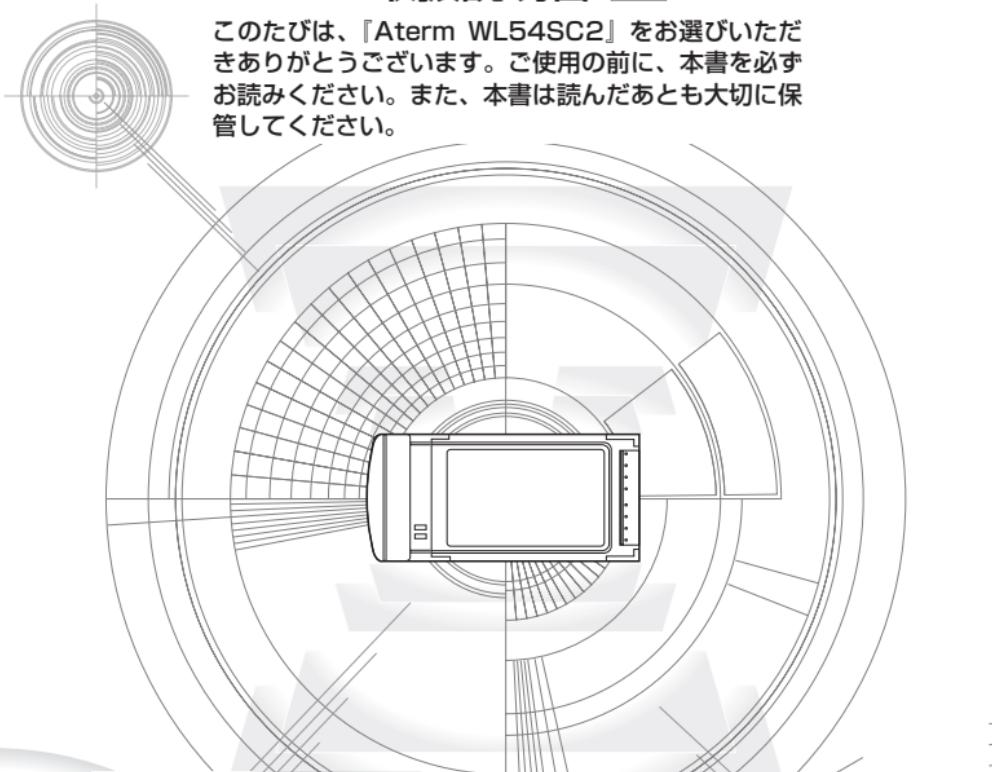
# Aterm® WL54SC2

PA-WL54SC2

## 取扱説明書

第1版

このたびは、『Aterm WL54SC2』をお選びいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



技術基準適合認定品

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

# 目次

目次 .....	2
ソフトウェアのご使用条件 .....	3
安全に正しくお使いいただくために .....	7
1 ご使用にあたって .....	13
2 セットを確認する .....	16
3 各部の名前とはたらき .....	17
4 WL54SC2 の接続設定を行う .....	18
5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための 無線設定を行う .....	31
6 アドホック通信の設定を行う .....	61
7 トラブルシューティング .....	64
8 製品仕様 .....	70

- Aterm®、WARPSTAR®は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート™は、NECアクセステクニカ株式会社の商標です。
- Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- ※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ32ビット(x86)版のみに対応しています。
- ※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capableロゴのついたパソコン、またはメーカーがWindows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Acrobat® Readerは、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Atheros™、ABG、Super AG および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc.の商標であり、NECアクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2007

日本電気株式会社、NECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# ソフトウェアのご使用条件

## お客様へのお願い

### 添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお選びいただきありがとうございます。本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

## NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただぐものとします。なお、お客様が期待された効果を得るために許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

### 1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

### 3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

- 
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
  - (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

#### 4. 許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

#### 5. 逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

#### 6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムについていかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

#### 7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際に支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

#### 8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国外から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に係る紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

## 本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は表示される「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をよくお読みください。

- ① 無線 LAN カード、無線 USB スティックの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ② 無線 LAN カード、無線 USB スティック用のドライバー式 (Windows® 版)

## CD-ROM の使い方

- 1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
- 2 表示される画面に従ってクリックする

### 【ご使用上のご注意】

#### Windows Vista™ または Windows® XP/2000 Professional でご使用の方

- Windows Vista™ の場合、添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 「メニュー画面」が自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
  - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] — [アクセサリ] — [ファイル名を指定して実行] を選択する  
※Windows® XP/2000 Professional の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
  - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.html と入力し、[OK] をクリックする  
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.html)  
また、パソコンにより異なりますが、画面を自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じた後に行ってください。
- サテライトマネージャ、Ethernet ボックスマネージャのインストール、ドライバのオンラインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

## CD-ROM の動作環境

### ● Windows® 動作環境

- Windows Vista™またはWindows® XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

#### ・ 推奨環境

##### ■ Windows Vista™ の場合

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

ハードディスク容量：40MB 以上を推奨

メモリ容量：512MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ32ビット(x86)版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。

自作のパソコンはサポートしておりません。

##### ■ Windows® XP/2000 Professional の場合

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

ハードディスク容量：40MB 以上を推奨

メモリ容量：256MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ



## お知らせ

### ● 表示画面

- サイズ：800 × 600 ピクセル以上

- 色：High-Color (24 ビット) 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

### ● 「メニュー画面」と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

- Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

# 安全に正しくお使いいただくために

## 安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになります。

- ⚠ 警 告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注 意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願 い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

## ⚠ 警 告

### こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

## ⚠ 警 告

### 禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。  
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

### その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因になることがあります。  
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

### 設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

### 禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 取扱説明書に従って接続してください。  
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

### その他のご注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。  
本商品の取り外しの際には、ご注意ください。



## STOP お願い

### 設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどを使いになつていて近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

**STOP お願い**

**禁止事項**

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、PC カードコネクタの接続部には絶対に触れないでください。

**日ごろのお手入れ**

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

**無線 LAN に関する注意**

- 最大 54Mbps (規格値) や最大 11Mbps (規格値) は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11a 通信モードの 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。

**その他注意事項**

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

## 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少くなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

「Aterm WL54SC2」は、IEEE802.11a (5GHz帯 (J52/W52/W53/W56))、IEEE802.11b (2.4GHz帯)、IEEE802.11g (2.4GHz帯) に対応したPCカードタイプの無線LANカードです。

無線LAN端末（子機）として、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している無線LANアクセスポイント（親機）に、離れたところからワイヤレスで通信できます。

- CardBus規格に準拠したPCカードスロット（TYPE II）を搭載し、対応OSが搭載されているPC-AT互換機でご使用になります。  
なお、WL54SC2を利用できるのは通信相手のワイヤレス機器が、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している場合です。対応していない機器との通信はできません。
- 対応OSはWindows Vista<sup>TM</sup>およびWindows<sup>®</sup> XP/2000 Professional（日本語版）のみです。

ご使用方法にあわせて次のように参照してください。

「2 セットを確認する」(☞P16)

「3 各部の名前とはたらき」(☞P17)

「4 WL54SC2の接続設定を行う」

→パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）  
(☞P19)

→パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）(☞P24)

「5 無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」

→らくらく無線スタートで設定する (☞P31)

→サテライトマネージャで設定する (☞P35)

→ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista<sup>TM</sup>/Windows<sup>®</sup> XPの場合）  
で設定する (☞P44)



### お知らせ

- WL54SC2は、無線LAN端末（子機）専用です。無線LANアクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。
- IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

## ■ IEEE802.11a通信でJ52帯、W52帯、W53帯、W56帯対応

本商品はIEEE802.11a通信においてJ52帯、W52帯、W53帯、W56帯に対応しており、IEEE802.11a通信をご利用の場合に、J52帯、W52帯、W53帯ではそれぞれ最大4チャネル、W56帯では最大11チャネルがご利用になります。

タイプ	チャネル	周波数帯域
J52	34, 38, 42, 46ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz帯 (5250-5350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz帯 (5470-5725MHz)

ただし、J52帯、W52帯、W53帯、W56帯は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページなどでご確認ください。

無線LANアクセスポイント（親機）	無線LAN端末（子機）	
	WL54SC2 (J52/W52/W53/W56対応)	J52/W52/W53/W56
IEEE802.11a (W52/W53/W56) 対応の無線LANアクセスポイント（親機）	W52 W53 W56	◎
IEEE802.11a (W52/W53) 対応の無線LANアクセスポイント（親機）	W52 W53	○
IEEE802.11a (J52) 対応の無線LANアクセスポイント（親機）で、IEEE802.11a (W52) に対応した場合	W52	△ (W52のみ)
IEEE802.11a (J52) 対応の無線LANアクセスポイント（親機）	J52	△ (J52のみ)

◎：W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz)、W56帯 (5470-5725MHz) を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。

○：W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz) を使用して、最大8チャネルから選択が可能です。

△：J52帯 (5150-5250MHz) またはW52帯 (5150-5250MHz) を使用して、最大4チャネルから選択が可能です。

## ■ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。なお、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁じられています。
- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

DS/OF:DS-SS 方式および OF-DM 方式を示す

4 :想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

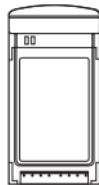
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

### ●構成品

WL54SC2



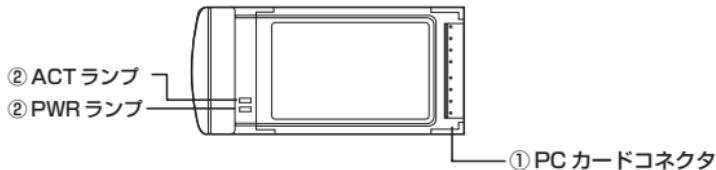
取扱説明書（本書）



CD-ROM（ユーティリティ集）



## WL54SC2



## ① PC カードコネクタ

パソコンのPCカードスロットに差し込み接続します。

## ② PWR ランプ／ACT ランプ

PWR、ACT ランプのつきかた	WL54SC2 の状態
2つのランプが同時に青点滅	通信中 (通信量により点滅速度が変化する)
2つのランプが同時に遅く青点滅	通信待機中 (通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない)
2つのランプが交互に遅く青点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていない）※
PWR ランプのみ青点滅 (ACT ランプ消灯)	電源が入っていないとき (無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態)

※無線接続が確立していない場合は、「4 WL54SC2 の接続設定を行う」(☞P18)、「5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」(☞P31)を参照して無線接続を確立してください。

## ● お願い

- WL54SC2 を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス (Ethernet ポートデバイスなど) とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- IEEE802.11a の通信と IEEE802.11g+IEEE802.11b 通信、IEEE802.11g 通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

ここでは、WL54SC2を無線LAN端末（子機）として使用するための接続設定を次の手順で説明しています。ご利用の環境にあわせて設定してください。

①パソコンとの接続（ドライバのインストール）

- ・サテライトマネージャでインストールする場合（☞P19）
- ・ドライバを手動でインストールする場合（☞P24）

②設定する

- ・らくらく無線スタートで設定する場合\*（☞P31）
- ・サテライトマネージャで設定する場合（☞P35）
- ・ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XPの場合）で設定する場合（☞P44）

\*ご利用の無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線LANアクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。



WL54SC2を無線LAN端末（子機）としてご利用になれるOSは、Windows Vista™およびWindows® XP/2000 Professionalのみです。Macintoshではご利用になれません。WL54SC2は、CardBus規格に準拠したPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

● お願い

- WL54SC2はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスPEND機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスPEND機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ETHERNETインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANポート機能を停止させないとWL54SC2のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANポート機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
- 無線LAN内蔵パソコンにWL54SC2を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの「[デバイスマネージャ]」の「[ネットワークアダプタ]」にある内蔵無線アダプタを「[無効]」に設定してください。
- WL54SC2と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

## パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）

### サテライトマネージャをインストールする

WL54SC2 を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。

- 1 Windows®を起動する  
Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。
- 2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする  
[自動再生] 画面が表示された場合は、[Menu.exe の実行] をクリックします。  
「メニュー画面」が表示されます。  
（「メニュー画面」が表示されないときは（☞P5））
- 3 [AtermWL54SC2 のドライバ及びユーティリティをインストールして設定する] の [CLICK] をクリックする
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする  
ユーザーアカウント制御の画面は、タスクバーに点滅表示される場合があります。
- 5 [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [次へ] をクリックする
- 6 [次へ] をクリックする



（次ページに続く）

7 画面の同意書を読み、同意できる場合は【次へ】をクリックする



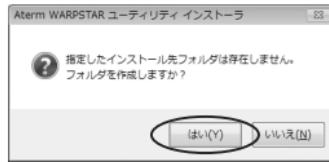
8 表示されたインストール先へインストールする場合は、【次へ】をクリックする

インストール先を変更する場合は、【参照】をクリックして変更してください。

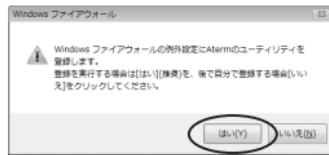


9 次の画面が表示された場合は、【はい】をクリックする

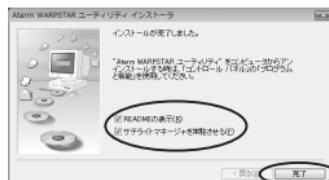
インストールが開始されます。



10 次の画面が表示された場合は、【はい】をクリックする



11 [READMEの表示]と[サテライトマネージャを常駐させる]にチェックが入っている(☒)ことを確認し、【完了】をクリックする  
サテライトマネージャがインストールされました。



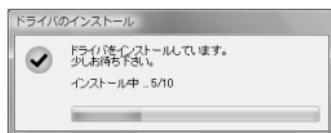
12 READMEをよく読み、【README】画面を閉じる  
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。

13 「メニュー画面」を閉じる

14

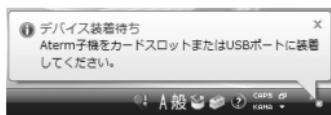
未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる

Windows® XP/2000 Professional の場合は、この自動インストールはありません。手順 17 (☞下記) にお進みください。



15

通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する



16

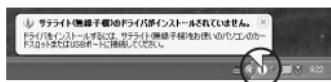
WL54SC2 をパソコンに取り付ける  
ドライバが自動的にインストールされます。



→ 以上で Windows Vista™でのインストールは完了です。  
無線 LAN 端末（子機）の無線設定手順に進みます。（☞P31）

17

Windows®XP/2000 Professional の場合は、通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する

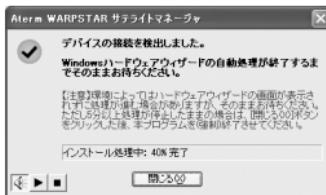


(次ページに続く)

## 18

### WL54SC2 をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。



以上で Windows® XP/2000 Professional でのインストールは完了です。

無線 LAN 端末 (子機) の無線設定手順に進みます。 (☞P31)



#### お知らせ

- サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。 (「① Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」 (☞P45))



## ドライバをアンインストール（削除）するには

WL54SC2のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンをWL54SC2のドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54SC2のドライバをアンインストールします。

※Aterm WARPSTARユーティリティがインストールされている必要があります。インストール方法については「サテライトマネージャをインストールする」(☞P19)を参照してください。

### ■ Windows Vista™の場合

次の手順でドライバとユーティリティを削除します。

※ユーティリティも削除されますので、ご注意ください。

- ①通知領域（タスクトレイ）にある【サテライトマネージャ】のアイコンを右クリックし、【終了】を選択する
- ②WL54SC2を取り外す(☞P30)
- ③[スタート] (Windows®のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除]をクリックする
- ④ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックする
- ⑤画面の指示に従って、アンインストールを行う

### ■ Windows® XP/2000 Professionalの場合

次の手順でドライバを削除します。

- ①通知領域（タスクトレイ）にある【サテライトマネージャ】のアイコンを右クリックし、【終了】を選択する
- ②WL54SC2を取り外す(☞P30)
- ③[スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバのアンインストール]をクリックする
- ④[OK]をクリックする
- ⑤アンインストールするドライバを選択し、[実行]をクリックする
- ⑥画面の指示に従ってアンインストールを行う



## パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）

WL54SC2のドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行ってください。

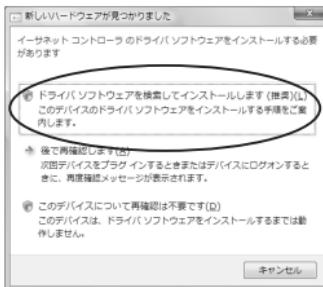
### ■ Windows Vista™の場合

#### Windows Vista™を起動する

ここでは、まだ添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をセットしないでください。

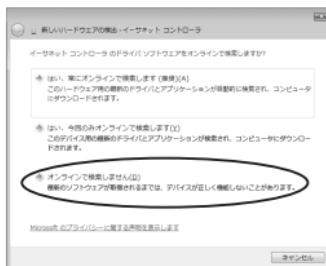
#### パソコンにWL54SC2を取り付ける

#### 1 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックする



#### 2 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする

#### 3 次の画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません] をクリックする



6

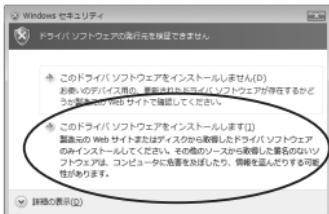
## 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順7に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順7に進みます。



7

## [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックする



8

## ドライバがインストールされる



9

## インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする



10

## CD-ROMを取り出す

(次ページに続く)

# 11

## WL54SC2 のドライバのインストールを確認する

- ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システムとメンテナンス] – [システム] をクリックする



- ③ [タスク] 欄の [デバイスマネージャ] をクリックする



- ④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ [NEC Aterm WL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する



## ■ Windows® XP/2000 Professional の場合

ここでは Windows® XP を例に説明します。Windows® 2000 Professional ではドライバが収録されている CD-ROM のフォルダが異なりますので手順 7 に注意してください。

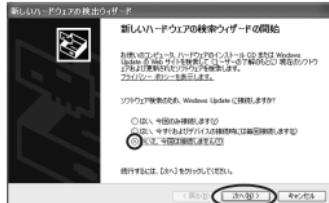
### 1 Windows® XP を起動する

### 2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をセットする

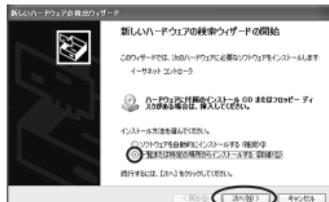
しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順 3 に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順 3 に進みます。

### 3 パソコンに WL54SC2 を取り付ける

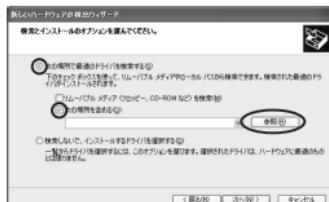
### 4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で【ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?】の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックする



### 5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で【インストール方法を選んでください】の画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックする



### 6 「次の場所で最適のドライバを検索する」と【次の場所を含める】にチェックし、[参照] をクリックする



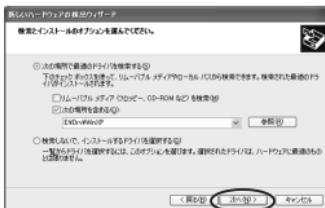
7

CD-ROM ドライブから [Drv] – [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする

Windows® 2000 Professional の場合、[Drv] – [Win2000] を選択します。

8

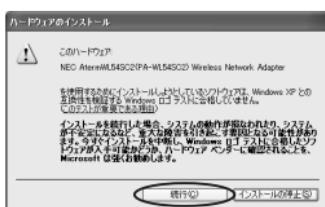
[次へ] をクリックする



(この画面は、CD-ROM ドライブ名  
が E の場合です)

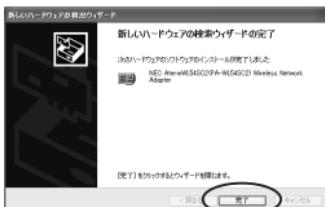
9

次の画面が表示されたときは [続行]  
をクリックする



10

インストールが完了したら、[完了]  
をクリックする



11

CD-ROM を取り出す

## 12

## WL54SC2 ドライバのインストールを確認する

- ①[スタート] - [マイコンピュータ] - [システム情報を表示する] をクリックする



- ②[ハードウェア] タブをクリックする  
③[デバイスマネージャ] をクリックする

※画面は、Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。  
Windows® のアップデート状況によって [デバイスマネージャ] ボタンの場所が異なります。

- ④[ネットワークアダプタ] をダブルクリックする  
⑤[NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する



## ? こんなときは

手順 12 で [NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから (☞P23)、インストールをやり直してください。  
手順 12 で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。  
[NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] 以外のネットワークアダプタは、[操作] - [プロパティ] をクリックして [全般] タブの [デバイスの使用状況] で [このデバイスを使わない (無効)] をチェックして無効にしてください。

## WL54SC2 の取り扱いについて

### ■取り付けるとき

- ・WL54SC2 のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

### ■取り外すとき

- ・WL54SC2 を取り外すときは、以下の操作で PC カードを取り外せる状態にしてから取り外してください。
  - ①タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックする
  - ②[NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter を安全に取り外します] をクリックする  
※Windows® 2000 Professional の場合は [NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter の停止] をクリックします。)
  - ③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」が表示されたら [OK] をクリックして画面を閉じる  
※Windows® XP/2000 Professional の場合は「'NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、 をクリックして画面を閉じます。(Windows® 2000 Professional の場合は [OK] をクリックして画面を閉じます。)
  - ④WL54SC2 を取り外す

# 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合  
→らくらく無線スタートで設定する（☞下記）
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合  
→サテライトマネージャで設定する（☞P35）  
→ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XP の場合）で設定する（☞P44）

## らくらく無線スタートで設定する

### （！）らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化の設定がされていることが必要です。  
→暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P32 の手順 2 の段階で失敗します。）
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。  
→無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを事前に登録していくなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P32 の手順 2 の段階で失敗します。）
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応した **WD600 シリーズ** の場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の開閉カバーを開け、ディップスイッチの 1、2 を「ON」側にしてから、らくらく無線スタートでの設定を行ってください。
  - ※ WD600 シリーズのディップスイッチがすべて「OFF」側の状態でらくらくスタートボタンを押すと、初期化準備状態となり、らくらく無線スタートでの設定は行えませんので、ご注意ください。
  - ※ ディップスイッチは、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）根元に力を加えて、倒してください。
  - ※ らくらく無線スタートでの設定が完了したら、ディップスイッチは元に戻してください。
  - ※ WD600 シリーズはプロバイダ／接続事業者からのご購入またはレンタルによるご提供の商品です。
- らくらく無線スタートでの設定中は無線 LAN アクセスポイント（親機）では無線 LAN 通信ができませんので、ご注意ください。らくらく無線スタートでの設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

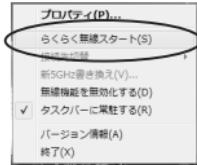


## 1 次の画面が表示されることを確認する

※1分以内に次の手順に進まない場合は  
自動的にキャンセルされます。

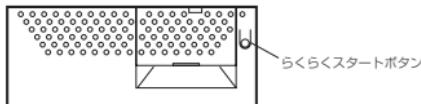


らくらく無線スタートが起動しない場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「らくらく無線スタート」をクリックします。



## 2 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押 して、前面の POWER ランプが緑点滅になつたら離す

※無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては、POWER ランプは電源ランプと表示されている場合があります。らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。



※装置図は一例です。



※装置図は一例です。



POWER ランプが約 10 秒間赤点灯した場合は、「らくらく無線スタート」に失敗しています。

無線 LAN アクセスポイント（親機）側の取扱説明書（「機能詳細ガイド」など）を参照して、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化を設定してください。MAC アドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになつてないことを確認してください。

確認後、再度手順 1 から設定を行ってください。

### 3

#### らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※30秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

##### WL54SC2 を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。



##### 無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプが橙点滅します。



※装置図は一例です。



#### どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

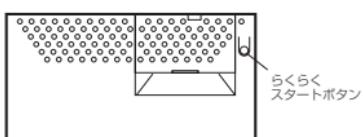
WL54SC2 を接続したパソコンで [キャンセル] をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 (☞P32) から設定をやり直してください。

#### どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」がご利用になれません。その場合は、サテライトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」 (☞P35) を参照してください。

### 4

#### 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しして、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら離す



※装置図は一例です。



らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

(次ページに続く)

## 無線設定が完了していることを確認する

### WL54SC2 を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。



### 無線 LAN アクセスポイント（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。



POWER ランプ

※装置図は一例です。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯します。手順 1 の ① から設定をやり直してください。

※前面の POWER ランプは、約 10 秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

## サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL54SC2の無線の通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも暗号化の設定を行うことをお勧めします。

Windows Vista™およびWindows® XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XP の場合）」で設定できます。詳しくは、P44 を参照してください。

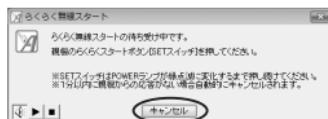
無線 LAN 端末（子機）間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は、P61 を参照してください。

## サテライトマネージャで設定する

- 1 [スタート]（Windows® のロゴボタン） – [すべてのプログラム]（または [プログラム]） – [AtermWARPSTAR ユーティリティ] – [サテライトマネージャ] をクリックしてサテライトマネージャを起動する



らくらく無線スタートの待ち受け画面が表示されている場合は、[キャンセル] をクリックしてください。



サテライトマネージャのインストール時に [らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う] のチェックを外してインストールした場合、手順 3 の画面がすでに表示されています。その場合は手順 4 へ進みます。

- 2 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

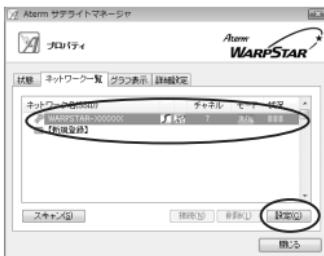


## 4

### 接続先のネットワーク名（SSID） をクリックして、[設定] をクリック する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 衔）です。

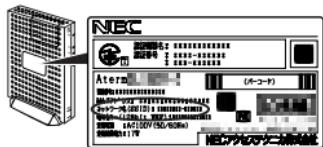
新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。



※画面は Windows Vista™の場合の例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

## 5

## 無線 LAN の設定を行う

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）に合わせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

## [ネットワーク名 (SSID)]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名 (SSID) を入力します。

手順4で使用するネットワーク名 (SSID) を選択した場合は、そのままにしておきます。

## [通信モード]

インフラストラクチャ通信を選択します。

## [暗号化モード]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

## ● 暗号化モードで WEP を使用する場合

① [暗号化モード] で [WEP] を選択する

② 暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する  
「64bit」（弱） < 「128bit」 < 「152bit」（強） の順で強い暗号がかかります。

※ WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ ではご利用いただけません。

③ 暗号化キーを入力する

英数字は 0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ~ 9、a ~ f、A ~ F で構成されている文字列を指定できます。

## ● 暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する  
※ TKIP、AES は、Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。



(次ページに続く)

---

②任意の暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8～63 衡の英数記号、または、64 衡の16進数で入力します。  
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63 衡の場合】

英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	?	]	{
*	&	*	.	<	@	^	
#	.	+	/	=	[	_	}
\$	(	.	:	>	\	‘	‘

※ 「＼」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 衡の場合】

16進数 (0～9、a～f、A～F)

【登録】をクリックする

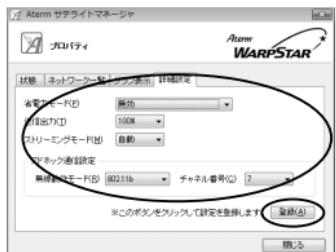
6



## お知らせ

- [詳細設定] タブをクリックすると、次の設定が行えます。

Windows Vista™の場合、設定を有効にするには、[登録] をクリックしてください。



※画面は Windows Vista™の場合の例です。

## ・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

## ・送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

## ・ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

## ・アドホック通信設定 (Windows Vista™の場合のみ)

アドホック通信の設定を行う場合の「無線動作モード」・「チャネル番号」を設定します。Windows Vista™の場合のみの設定項目です。(Windows® XP/2000 Professional の場合は、P62 を参照してください。)

※Windows® XP/2000 Professional の場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows® XP のワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。

## お願い

- 同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマージャの「ネットワーク一覧」のチャネル表示が「状態」の表示と異なる場合があります。「状態」表示の値を参照してください。
- 2台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されます。

## ① サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

### 【プロパティ】：

通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。

【状態】タブで無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。

無線の接続状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

### 【らくらく無線スタート】：

インストール時に「らくらく無線スタートで無線LANの設定を行う」にチェックした場合のみ表示されます。

無線LANアクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。（☞P31）

### 【接続先切替】：

サテライトマネージャで設定した接続先（無線LANアクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

### 【新5GHz書き換え】（Windows Vista™の場合のみ）：

新5GHz（W52/W53/W56）に対応していない無線LAN端末（子機）を使用している場合に表示されます。また、新5GHz（W52/W53/W56）に対応している無線LAN端末（子機）を使用している場合はグレーアウトします。

### 【無線機能を無効化する／無線機能を有効化する】（Windows Vista™の場合のみ）：

【無線機能を無効化する】または【無線機能を有効化する】をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。

Windows Vista™の場合のみの項目です。（Windows® XP/2000 Professionalの場合は、【プロパティ】 - 【詳細設定】にて設定することができます。）

### 【タスクバーに常駐する】：

【タスクバーに常駐する】にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

### 【バージョン情報】：

サテライトマネージャのバージョンや無線LAN端末（子機）のドライバのバージョンが確認できます。

### 【終了】：

サテライトマネージャを終了します。

## ② サテライトマネージャを起動するには

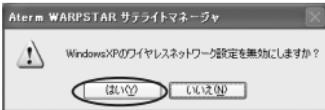
サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、【スタート】（Windows®のロゴボタン）をクリックし、【すべてのプログラム】（または【プログラム】） - 【Aterm WARPSTARユーティリティ】 - 【サテライトマネージャ】をクリックします。



## Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定でいったん設定を行っていた場合、Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ③ 次の画面が表示されるので [はい] をクリックする



以上の設定を行うと、Windows® XP でサテライトマネージャが使用できるようになります。P35 からのサテライトマネージャでの無線 LAN アクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

## 無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を確認する

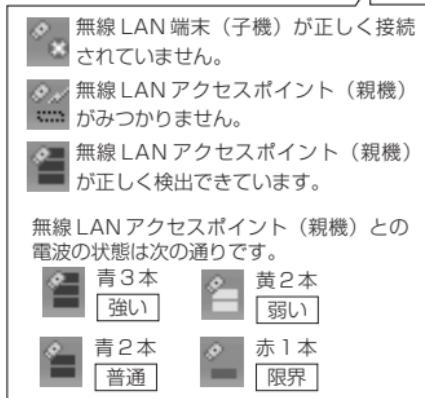
サテライトマネージャを起動すると、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）にある [サテライトマネージャ] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する



- 2 [状態] タブをクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の通信状態が表示されます。  
※[11a モードタイプ] で無線 LAN 端末（子機）が対応している IEEE802.11a のタイプ（●P14）を確認することができます。（現在通信しているタイプではありません。）



3

### 接続状態を確認し、【閉じる】をクリックする

無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。



### サテライトマネージャで確認できる接続状態について

#### 【グラフ表示】

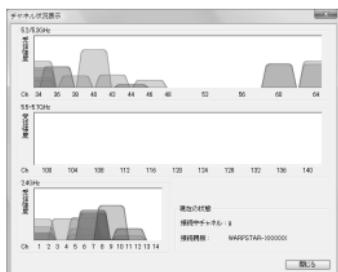
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



#### 【状態】 – 【チャネル状況】

近くの無線 LAN アクセスポイント（親機）で使用しているチャネルや電波の強さを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。



## ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XPの場合）

Windows Vista™ および Windows® XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワークの設定」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit、152bit<sup>※1</sup>)」、「TKIP<sup>※2</sup>」、「AES<sup>※2</sup>」の場合に、ご利用いただけます。なお、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合は、ご利用いただけません。

※1：WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AES は、Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

Windows® XP の場合は、通常は「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にしてサテライトマネージャで設定してください。

※あらかじめパソコンにWL54SC2のドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ（☞P19）または、手動で（☞P24）ドライバをインストールしてください。



## Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。  
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- ③ 「詳細設定」タブをクリックする
- ④ 「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す



- ⑤ 「はい」をクリックする
- ⑥ 「閉じる」をクリックする
- ⑦ 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、「終了」をクリックする
- ⑧ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し（☞P30）、接続し直す

● 暗号化設定されている無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合  
(☞P46)

● 暗号化設定されていない無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合  
(☞P56)

## ■暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する (無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき)

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されている場合は、ここで暗号化の設定を行って無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista™をご利用の場合 (☞下記)

Windows®XPをご利用の場合 (☞P51)

### Windows Vista™の場合

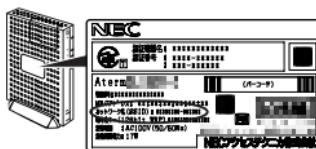
以下の設定は Windows Vista™のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AESをご利用になる場合の説明です。

1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

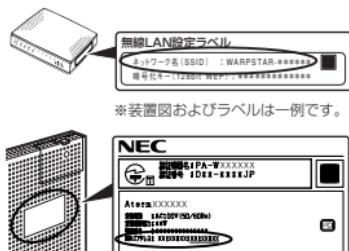
※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

## 5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして、手順 6 へ進みます。

3

### 【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、

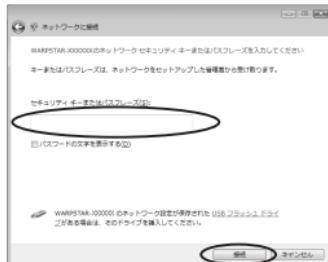
下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
  - ② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
  - ③ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる
- 上記の手順が完了したら、手順 1 から接続し直してください。

4

無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合（工場出荷時は 1 番）、[セキュリティキーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックして、手順 13 に進む

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。



※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 番～4 番を使っている場合は、[キャンセル] をクリックして、手順 5 に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も [キャンセル] をクリックして、手順 5 に進みます。

5

[ネットワークと共有センター] - [接続またはネットワークをセットアップ] をクリックする



(次ページに続く)

6

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



7

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する

③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：

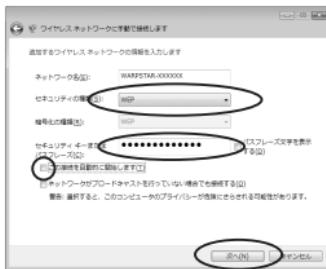
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④[この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

⑤[次へ] をクリックする



### 〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する
- ②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークセキュリティキー]を入力する

8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63桁の場合】

英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

!	%	)	-	:	?	]	{
-	&	*	.	<	@	^	
#	.	+	/	=	[	_	}
\$	(	.	:	>	\	^	-

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

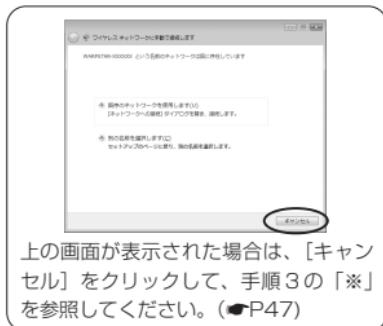
【64桁の場合】

16進数（0～9、a～f、A～F）

暗号化キーは半角で入力します。

- ④[OK]をクリックする

【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、手順3の「※」を参照してください。（☞P47）

(次ページに続く)

9

[セキュリティ]タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、  
[キーインデックス]で無線LANアクセ  
スポイント（親機）に設定したキー番号  
を選択します。



※画面は暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

10

[OK]をクリックする

11

[接続します]をクリックする

12

無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続] をクリックする



13

[閉じる]をクリックする



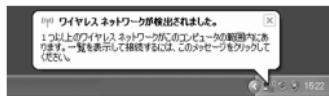
## Windows® XP の場合

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP<sup>※1</sup>/TKIP<sup>※2</sup>/AES<sup>※2</sup>をご利用になる場合の説明です。

※1 : WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※2 : TKIP、AES は、Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

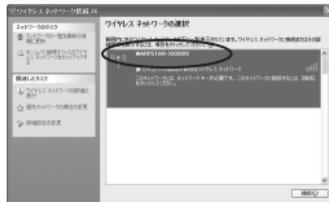


- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

- 3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXXは無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下6桁) です。



※画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。  
Windows® のアップデート状況により画面が異なります。



※装置図およびラベルは一例です。



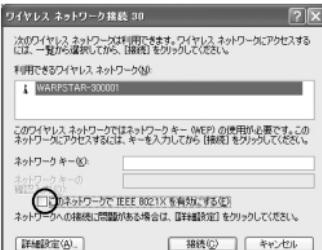
※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

(次ページに続く)

※[利用できるネットワーク] に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。



- [このネットワークで IEEE802.1x を有効にする] の  は必ず外してください。

**4 Windows® XP (Service Pack 2) の場合は [接続] をクリックする**  
Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、そのまま手順 5 へ進みます。

**5 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合、[ネットワークキー] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする**

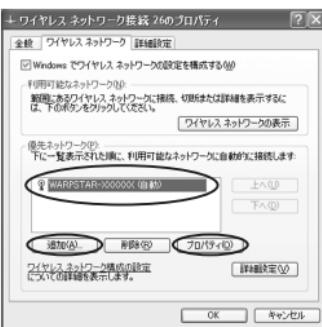
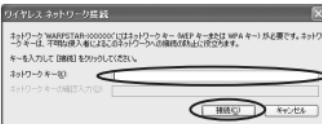
※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合  
や、一度設定した暗号化設定を変更する  
場合は [キャンセル] をクリックし、手順 6 に進みます。

**6 [詳細設定の変更] をクリックする**

Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、[詳細設定] をクリックします。

**7 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、[プロパティ] をクリックする**

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が [優先ネットワーク] (Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は [優先するネットワーク]) 欄に表示されていない場合は、[追加] をクリックします。



8

## 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。

### ■ Windows® XP (Service Pack 2) の場合

#### 〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する

②[データの暗号化]で[WEP]を選択する

③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 32 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する

⑥[OK]をクリックする



(次ページに続く)

### 〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
- ②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63桁の場合】

英数記号

(0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	?	]	{
*	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[	_	]
\$	(	.	:	>	\	ˋ	~

※「¥」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数 (0～9、a～f、A～F)

暗号化キーは半角で入力します。

- ④[OK]をクリックする

### ■ Windows® XP (Service Pack 1) の場合

- ①[データの暗号化]にチェックする  
（画面に「ネットワークアソシエーション」・「データの暗号化」の項目が表示されている場合は、それだけ「開いています」・「WEP」を選択する）
- ②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

## 5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 32 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

④無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する

⑤[OK] をクリックする

### ■ Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合

①[データの暗号化] にチェックする

②[キーは自動的に提供される] のチェックを外す

③[ネットワークキー] は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

#### キーの形式：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

#### キーの長さ：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。

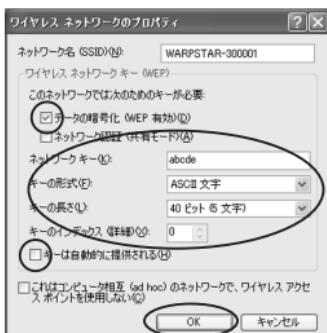
無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

#### キーのインデックス：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が 0～3 と表示されますので、1～4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）側は、クイック設定 Web の「無線 LAN 側設定」 - 「暗号化 (WEP)」で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK] をクリックする



## ■無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する（無線 LAN アクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

無線 LAN アクセスポイント（親機）が暗号化設定されていない場合は、下記の手順で無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista™ をご利用の場合 (☞下記)

Windows®XP をご利用の場合 (☞P58)

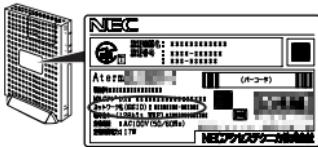
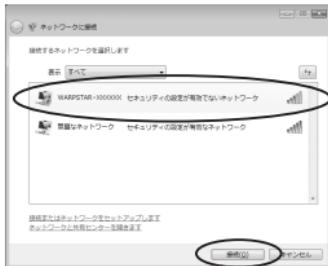
### Windows Vista™ の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

- 2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



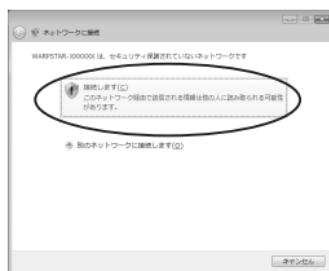
※装置図およびラベルは一例です。

- 3 [接続] をクリックする

## 5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

4

【接続します】をクリックする



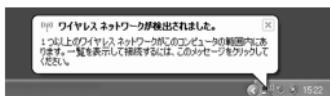
5

【閉じる】をクリックする



## Windows® XP の場合

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される



※画面はWindows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

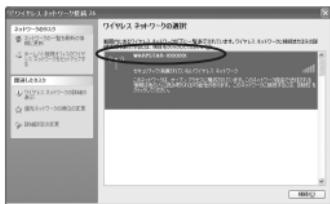
- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、「[利用できるワイヤレスネットワークの表示]」をクリックする

Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合は「[利用できるネットワーク]」をクリックします。

- 3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

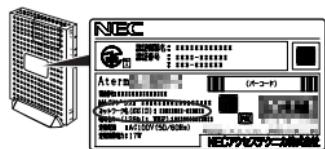
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 衔）です。

※「[利用できるネットワーク]」に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面はWindows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

Windows® のアップデート状況により画面が異なります。



※装置図およびラベルは一例です。



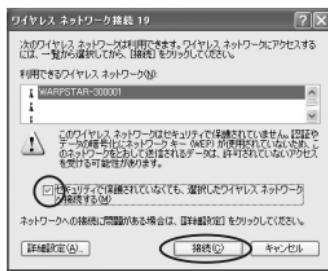
※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

## ●お願い

- 次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていないくとも、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。



※画面はWindows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

4

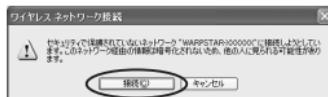
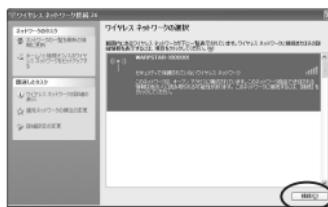
[接続] をクリックする

5

次の画面が表示された場合は、[接続] をクリックする

6

パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



## ■無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

### 1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] をクリックする方法もあります。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

### 2 [状態の表示] をクリックする

※Windows® XP の場合は、[状態] をクリックし、[全般] タブをクリックします。



### 3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] が「有効」になっていること  
(Windows® XP の場合は、「接続」になっていること)
- ・[速度] が表示されていること  
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。Super AG機能を利用している場合は、108Mbpsと表示されます。)



※画面は Windows Vista™の場合の例です。

### 4 [閉じる] をクリックする

無線 LAN 端末(子機)どうしで通信する「アドホック通信」の設定を行います。

### アドホック通信の設定をする

1 通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する

2 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

3 接続したいネットワーク名(SSID)をクリックして、[設定]をクリックする

※新しくネットワーク名(SSID)を登録する場合は、【新規登録】をクリックして[設定]をクリックし、手順 4 の画面で新しいネットワーク名(SSID)を登録します。



※画面は Windows Vista™の場合の例です。

4 [通信モード] で「アドホック通信」を選択する



※画面は Windows Vista™の場合の例です。

### お知らせ

● Windows® XP/2000 Professional の場合は次の手順で設定します

① [通信モード] で「アドホック通信」を選択する

② [無線動作モード] を設定する

③ [チャネル番号] を設定する

※[参照]をクリックして[チャネル番号]を設定することもできます。



5

### 暗号化の設定を行う

【暗号化モード】で暗号化の方法を選択し、設定したい【暗号化強度】、【指定方法】の選択をして、【暗号化キー】を入力します。

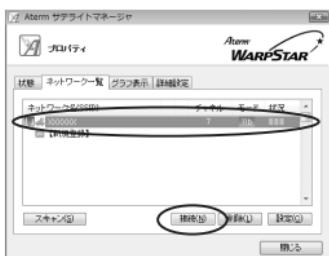


6

【登録】をクリックする

7

接続したいネットワーク名（SSID）をクリックし、【接続】をクリックする



1

【詳細設定】タブをクリックする

2

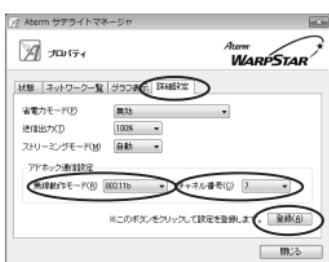
【無線動作モード】を設定する

3

【チャネル番号】を設定する

4

【登録】をクリックする



## 通信状態を確認する

1 アドホック通信するパソコンを起動させる

2 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、【プロパティ】を選択する

3 【状態】タブをクリックする

接続状態が「強い」または「普通」と表示されることを確認してください。

「強い」または「普通」にならない場合には、「強い」または「普通」と表示される位置までパソコンを移動させてください。

ネットワーク名(SSID)には、選択したネットワーク名(SSID)が表示されます。



4 【閉じる】をクリックする

● お願い

- サテライトマネージャを必ずタスクトレイに常駐した状態でご使用ください。常駐しないと無線 LAN 接続できない場合があります。
- IEEE802.11a 通信 (W52) や IEEE802.11b 通信でのみご利用になれます。  
(IEEE802.11g 通信では動作しません。)
- 近くの無線 LAN アクセスポイント(親機)と同じネットワーク名(SSID)・チャネルに設定すると、無線 LAN アクセスポイント(親機)との通信が優先されてしまい、アドホック通信が正しくできない場合があります。同じエリア内にある無線 LAN アクセスポイント(親機)とは異なる [ネットワーク名(SSID)]・チャネルを設定してください。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定、確認方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照してください。ここでは、主に WR6670S の場合を例に説明しています。

### ●無線 LAN 端末（子機）の接続に関する問題

症 状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下6桁）です。</li> <li>●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）のETHERNET ポートに接続したパソコンから、クリック設定 Web で確認することができます。（WR6670S の場合：【詳細設定】－【無線 LAN 側設定】内の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」）</li> </ul>
暗号化のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）のETHERNET ポートに接続したパソコンから、クリック設定 Web で確認することができます。（WR6670S の場合：【詳細設定】－【無線 LAN 側設定】内の「暗号化」）</li> </ul>
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN カードを装着している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに無線 LAN カードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているか、確認してください。また、無線 LAN カードのランプが同時に点滅しているか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていなか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN カード（子機）のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、無線 LAN カード（子機）が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク名（SSID）があつてゐるか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定 Web で確認することができます。（WR6670S の場合：【詳細設定】→ [無線 LAN 側設定] 内の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定】） ※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼つてあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 衔）です。</li> <li>● 暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号化強度、暗号化キー）があつてゐることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線 LAN カードによっては暗号化強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。</li> </ul> <p>※(例) 暗号化強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· WEP64bit → 40bit</li> <li>· WEP128bit → 104bit</li> </ul> <p>※(例) 暗号化キー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· Windows® XP のワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信モードがあつてゐるか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。</li> <li>● Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、 サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。</li> <li>● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。</li> <li>● サテライトマネージャの接続先の選択でチェックの入っている接続先を選びなおしてみてください。</li> <li>● 近くに隣接する無線チャネルを使つてゐる場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。</li> </ul>
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の電波状態が悪い  「アドホック通信」（パソコン間通信）で通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。</li> <li>● 通信モードを「アドホック通信」でご使用の場合は、【チャネル番号】が一致しているか、確認してください。（●P61）</li> <li>● WL54SC2 で「アドホック通信」を行なう場合は、【無線動作モード】の「802.11a/802.11b」を選択してください。（●P61）</li> <li>● IEEE802.11a 通信でご利用の場合は、34, 38, 42, 46ch(J52)、52, 56, 60, 64ch (W53)、100, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch (W56) を利用したアドホック通信は行えません。36, 40, 44, 48ch (W52) でご利用ください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
Windows Vista <sup>TM</sup> および Windows <sup>®</sup> XP の [ワイヤレスネットワーク] の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のパルーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。</li> <li>● WL54SC2 のドライバが正しくインストールされていない場合があります。</li> </ul> <p>〈Windows Vista<sup>TM</sup>の場合〉 P23 を参照していったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <p>〈Windows<sup>®</sup> XP の場合〉 P23 を参照していったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p>
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.X</li> </ul>
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。</li> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を 1m 以上離してください。 また、Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてみてください。ただし、その場合は、遠くにある無線 LAN 端末（子機）から接続しにくくなります。</li> </ul>
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合で、サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。</li> <li>● AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。</li> <li>● 無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。</li> </ul>

## ●サテライトマネージャに関するトラブル

症 状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。</li> </ul>
らくらく無線スタートが成功しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。</li> <li>●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。</li> <li>●パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。</li> <li>●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、添付の CD-ROM を使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になつたらいったん離します。手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。（☞P31）</li> <li>●無線 LAN 端末（子機）（WL54SC2 など）の他にネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している →ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。</li> </ul>

症 状	原因と対策
Windows Vista™およびWindows® XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Administrator権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。</li> </ul>
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号化強度、暗号化キー）が設定されていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。</li> <li>● Windows® XPをご利用の場合は、[Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。</li> </ul>
「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電波状態により、「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。</li> <li>● クイック設定 Web (WR6670S の場合：[詳細設定] - [無線 LAN 側設定]) の「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、ETHERNET接続のパソコンから「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。</li> <li>● 無線 LAN 端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。</li> <li>● ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。</li> </ul>
[サテライトマネージャ]アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続ができていません。 「無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない」(☞P64) を確認してください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない	<p>●WL54SC2のドライバが正しくインストールされていない場合があります。</p> <p>〈Windows Vista™の場合〉 P23を参照していったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <p>〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉 P23を参照していったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p>

## WL54SC2 仕様

## ■ 仕様一覧

項目	諸元				備考	
端末インターフェース	CardBus					
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル (※3)	5.2GHz帯 5150-5250MHz ※屋内限定	J52	34/38/42/46ch	
			5.3GHz帯 5250-5350MHz ※屋内限定	W52	36/40/44/48ch	
			5.6GHz帯 5470-5725MHz	W53	52/56/60/64ch	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	W56	100/104/108/ 112/116/120/ 124/128/132/ 136/140ch	
			伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
			DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式			
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	伝送速度 (※1)	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)		
			2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch			
			伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式		
	SSID、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP, AES)		伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
ヒューマンインターフェース	状態表示 LED × 2					
利用可能端末	PC-AT 互換機					
利用可能 OS	Windows Vista™ 日本語版かつ 32 ビット (x86) 版 Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版					
電源	DC3.3V × 500mA				パソコンから給電	
消費電力	1.7W (最大)					
外形寸法 (mm) (W × D × H)	約 54 × 109 × 5					
質量	約 0.04kg					
動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90%				結露しないこと	

※1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

※2 Windows Vista™ やび Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP (152bit) の場合〉

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

Windows Vista™ ではご利用いただけません。

〈TKIP, AES の場合〉

Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※3 34,38,42,46ch (J52)、52,56,60,64ch (W53)、100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) を利用したアドホック通信は行えません。

# MEMO

# MEMO

# MEMO

## END USER LICENSE AGREEMENT

### **1. License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:

Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

### **2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

### **3. Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:

**Third-Party Beneficiary.** The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

### **4. U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

### **5. Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

## ● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいつさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

## ● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいつさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいつさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

## ● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

- お問い合わせやアフターサービスについては、別紙をご参照ください。
- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ADSLなど回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社  
Aterm WL54SC2 取扱説明書 第1版

AM1-000611-001  
2007年7月



\* A M 1 - 0 0 0 6 1 1 - 0 0 1 S \*